

2025年度 補助事業実績報告書

事業名 (主管ユ協名)	視察研修IN安中「アプトの道ウォーキング大会」 (主管：安中碓氷ユネスコ協会)	
主旨・目的	日本ユネスコ協会連盟は、100年後の子どもたちに地域の文化・自然遺産を伝えるため未来遺産運動を推進してきた。また、当安中碓氷ユネスコ協会は碓氷峠鉄道施設の世界遺産登録を目指し多くの市民にご理解いただくよう地道に取り組んでいる。本視察研修は、碓氷峠鉄道施設の歴史的価値を伝え、郷土の貴重な遺産の保護・保全のあり方を探り、各ユ協の活動の更なる活性化を図るとともに、県内会員相互の親睦を深めることを目的とし開催する。	
日時	2025年6月1日(日) 受付 午前8時30分～ 和太鼓演奏8時50～ 研修 午前9時～13時00分	
場所	安中市松井田町坂本1222 峠の湯(集合：正面玄関前広場) 研修視察(峠の湯→アプトの道→旧熊ノ平駅)	
参加対象及び参加者数	県内各ユネスコ協会会員 その他(碓氷峠鉄道遺産群に興味・関心のある方) 参加者：県内ユネスコ協会会員40名 その他160名 計200名	
事業内容及び方法	<p>(1) スタッフ集合 7:50 (2) 受付 8:30～ (3) アトラクション(和太鼓演奏) 8:50～ (4) 開会行事 9:00～ (5) 研修視察(峠の湯→アプトの道→旧熊ノ平駅) 9:15～ 講師：萩原豊彦氏 特定非営利活動法人碓氷峠歴史文化遺産研究会代表 (NPO法人碓氷峠浪漫倶楽部) (6) 閉会・解散(旧熊ノ平駅) 12:30 (7) 峠の湯着(解散後各自で) 13:00</p> <p>安中総合学園高校生による和太鼓演奏のアトラクションに続き、特定非営利活動法人碓氷峠歴史文化遺産研究会代表の萩原豊彦氏及び解説ボランティア3名を講師に迎え、峠の湯から旧熊ノ平駅までのアプトの道を歩き、鉄道施設を実際に視察しながら、歴史的・文化的な価値や実際にどのように使用されていたか等についてご理解いただいた。</p> <p>途中、三味線(上原梅弦氏)を聴いていただくとともに、めがね橋上で参加者によるシャボン玉大会を実施し研修会を盛り上げた。</p>	
事業の効果	事業の目的である、碓氷峠鉄道施設の歴史的価値を伝え、郷土の貴重な遺産の保護・保全のあり方を探り、各ユ協の活動の更なる活性化を図るとともに、県内会員相互の親睦を深めることができた。さらに、研修視察終了後、峠の湯(温泉とレストラン)で疲れた体を癒やしていただくこと等により、多くの参加者に有意義な研修の場を提供できたと考えている。	